

# 第2期 京都文化芸術都市創生計画（案）の概要

## 1 第1期計画（平成18～28年度）

（平成19年3月策定、平成24年3月改定）

### の主な成果（P.6）

#### ▶前半期（平成18～23年度）◀

- ・新景観政策の推進
- ・「源氏物語千年紀記念」事業の開催、「古典の日」の法制化
- ・国民文化祭・京都2011の実施
- ・「京都祇園祭の山鉾行事」のユネスコ無形文化遺産登録
- ・伝統芸能文化の更なる創生に向けた先駆的取組の開始
- ・京都文化祭典、京の華舞台等の取組
- ・元立誠小学校を拠点とした文化芸術による地域のまちづくり
- ・「ようこそアーティスト 文化芸術とくべつ授業」等の取組
- ・子どもたちが文化芸術を鑑賞し、体験するきっかけづくり
- ・京都芸術センター事業等による芸術家の育成・活動支援
- ・京都市キャンパス文化パートナーズ制度の創設
- ・京都市文化財マネージャー（建造物）制度の創設

#### ▶後半期（平成24～28年度）◀

- <継承と創造に関する人材育成等>
  - ・伝統芸能文化の更なる創生に向けた先駆的取組の実施
  - ・京都芸術センター等による芸術家の育成・活動支援
  - ・学校教育をはじめ、あらゆる機会を通じた伝統的な文化芸術に触れる取組
- <創造環境の整備>
  - ・ロームシアター京都（京都会館）、京都市動物園のリニューアルオープン、京都市美術館の再整備への着手
  - ・京都市立芸術大学の移転推進
  - ・京都芸術センターを中心とした文化芸術コアネットワークの整備と情報機能等の充実
- <文化芸術と社会の出会いの促進>
  - ・若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくり
- ・スポーツ・文化・ワールド・フォーラムの開催
- ・京都国際マンガアニメフェアの開催
- ・祇園祭後祭の復興支援
- ・京都市交響楽団の演奏力の向上（権威ある賞の受賞）
- ・京都国際現代芸術祭2015や京都国際舞台芸術祭、琳派400年記念祭、伊藤若冲生誕300年記念事業等の文化芸術事業の開催
- ・京都を彩る建物や庭園制度の創設、京都をつなぐ無形文化遺産制度創設と「京の食文化」、「京・花街の文化」、「京の地蔵盆」、「京のきもの文化」の選定
- ・「まち・ひと・こころが織り成す京都遺産」制度の創設

## 2 京都の文化芸術を取り巻く状況（P.8～）

○京都の特性 ●京都の現状と課題

- 暮らしや生業に関わる文化を町衆が支えるまち
- 子どもをはじめ、あらゆる人が文化芸術を身近に感じられるまち
- 地域コミュニティや地域とのつながりの維持・活性化
- 生活様式が変化する中での文化の継承
- 伝統を受け継ぎ、革新と創造を続けるまち
- 芸術系大学をはじめ、多くの大学が集積し、可能性を秘めた学生が多いまち
- 優れた技・芸の次世代への継承、楽器・用具用品の確保
- 地域の特徴ある文化芸術や伝統行事の維持・継承
- 有形無形の文化芸術資源が豊富
- ものづくり産業、観光や景観等が文化との融合により発展してきたまち
- ビッグデータの活用や人工知能の活用等、技術革新との共存
- 先人から受け継いだ豊富な文化財の保存と活用、価値の共有
- 国内外から様々な人々が集い交流するまち
- 文化芸術団体が自律的に活動し、重層的に集積するまち
- 国内外と交流する様々なセクター間の情報交換
- ICTの発達や多様化に伴う情報発信力の強化

▶京都の文化芸術行政に2つの大きな追い風

2020年（平成32年）オリンピック・パラリンピック等の開催

文化庁の全面的移転方針の決定

## 3 1, 2を踏まえ、今後必要となる施策・方向性（P.8～）

- ◇地域の中で支えられ、衣食住をはじめとする暮らしの中に根付いている文化や自然、景観を継承し、未来へ受け継ぐ。
- ◇子ども・若者、高齢者、障害のある方をはじめ、それぞれ人が持つ力を最大限に引き出し、社会参加の機会へ繋げる社会包摂を促進する。
- ◇文化芸術を担う人も支える人も、伝統を受け継ぎ、常に新たな文化芸術を創造し続けられる仕組みを作っていく。
- ◇地域で行われている文化芸術に関するまちづくり活動を推進することにより、地域の特色を活かした魅力あるまちづくりを展開する。
- ◇文化を基軸として、観光・経済をはじめ、あらゆる政策分野に波及・融合させることで、文化政策に広がりを持たせる。
- ◇文化芸術資源の魅力を最大限に引き出し、戦略的に新たな価値を創出していく。
- ◇国内外との文化交流を促進することにより、相互に文化力を強め、文化芸術やまちの魅力を発信する。
- ◇文化芸術に携わる人々が集うことで形成されるネットワークを更に充実し、国内外の人々に、より手軽に、分かりやすく、質の高い京都の文化芸術情報を提供する。

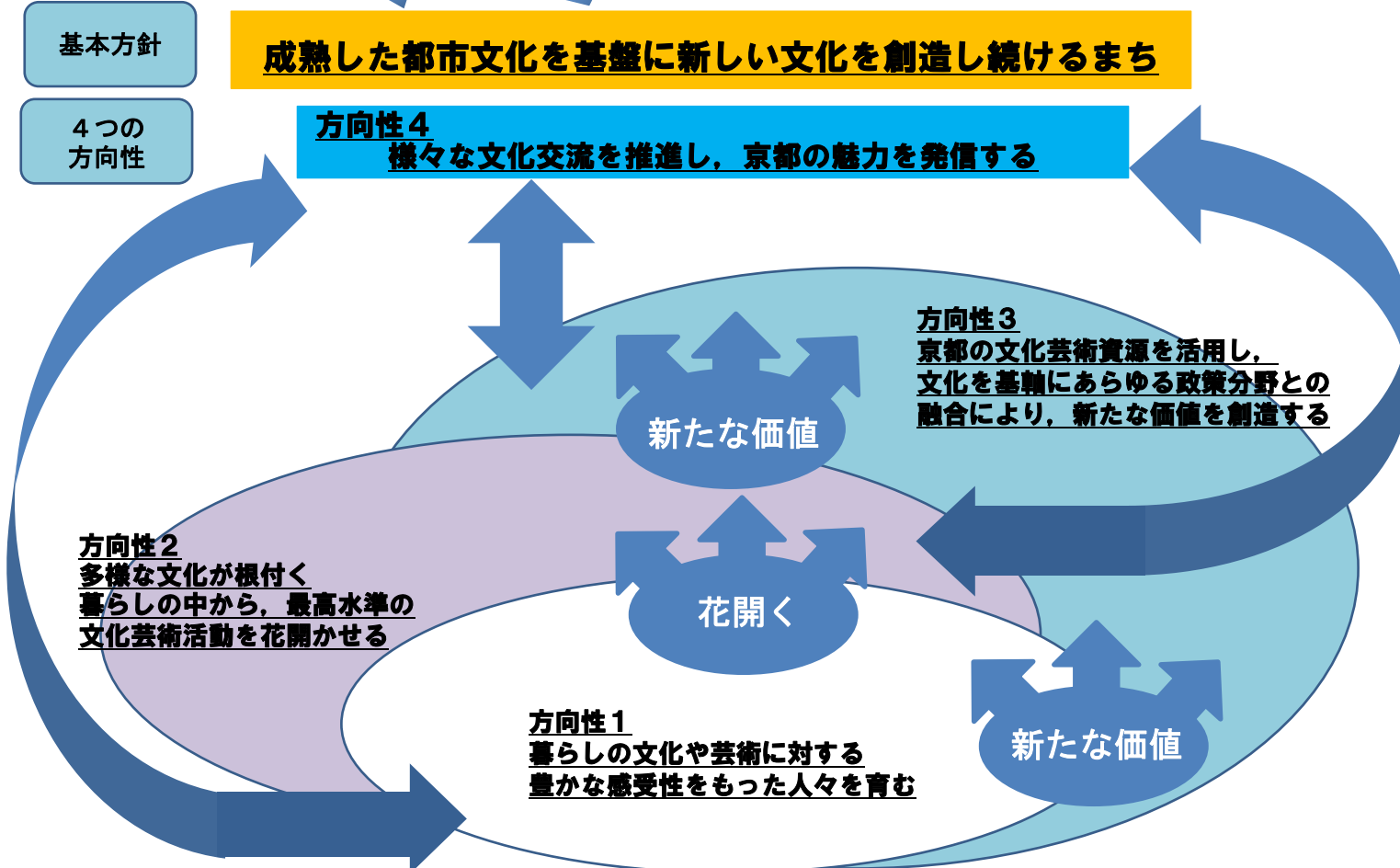
方向性1へ

方向性2へ

方向性3へ

方向性4へ

## 4 計画の構成図（P.17）



### 計画における最重要施策

- 方向性4 ★★文化庁の全面的な移転に向けた取組の着実な推進
- 方向性4 ★★「東京オリンピック・パラリンピック」「関西ワールドマスタースゲームズ2021」等を契機とした国際的な文化の祭典の開催とその成果の継承
- 方向性3 ★★世界遺産・二条城が文化財保存と活用のモデルとなる取組の実施
- 方向性3 ★★京都市美術館の再整備の推進
- 方向性2・3 ★★芸術家の社会的、経済的地位の向上につながる各種取組の推進
- 方向性2 ★★伝統芸能文化の振興に向けた先駆的取組の実施
- 方向性1 ★★「地域に根差した暮らしの文化」の振興
- 方向性1・3 ★★「光」「音」「香り」などで彩られた五感で感じる京都の景観の継承と活用

## 5 主な施策・事業（P.18～）

（★：推進施策における重要施策，★★：最重要施策（ゴシック体））

### 方向性1 暮らしの文化や芸術に対する豊かな感受性をもった人々を育む

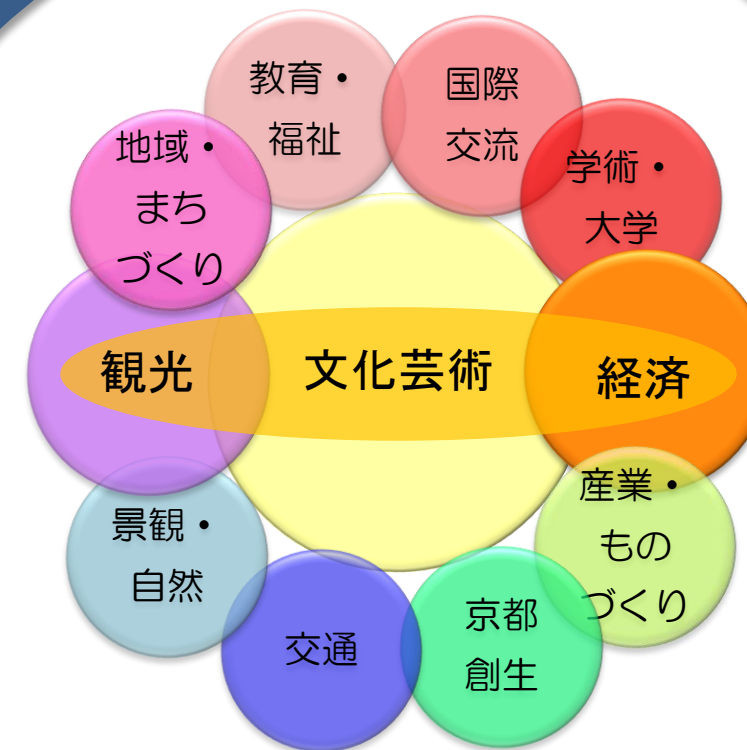
- 人々が日々の暮らしの中に息づく文化を再認識して大切に継承するとともに、文化芸術に触れる機会を創出して人々の感受性を育み、市民の文化芸術活動がさかんな社会を目指す
- ★★「地域に根差した暮らしの文化」の振興
- ★★「光」「音」「香り」などで彩られた五感で感じる京都の景観の継承と活用【方向性3にも掲載】
- ★伝統産業品等を暮らしの中で活用し子どもの感性を“はぐくむ”取組の推進（◎新規）
- ★京都の文化、アイデンティティを大切にするための講座等の実施（◎新規）
- ★華道、茶道、香道をはじめとする伝統的な文化芸術から現代芸術までの幅広い芸術家を小中学校等へ派遣する「ようこそアーティスト 文化芸術とくべつ授業」の実施
- ★福祉施設に芸術家を派遣する等、社会的に困難を抱えている人々に対して、文化芸術の力を活用して社会参加の機会を充実する「社会包摂」の取組の推進（◎新規）
- ★文化芸術を通じた活力ある地域社会「健康長寿のまち・京都」の実現
- ★公共空間や公共交通機関を活用した文化芸術の発信
- ★「真のワーク・ライフ・バランス」の推進による地域に根差した暮らしの文化の継承
- ★市民に周知・啓発するツール、証明書等における文化芸術の活用・小学校における生け花体験や花育活動、公共施設等での飾花を通じた花き文化の振興（◎新規）

### 方向性2 多様な文化が根付く暮らしの中から、最高水準の文化芸術活動を花開かせる

- 文化芸術に満ち溢れた土壌から、伝統芸能や現代芸術など多様な分野において、世界で活躍する芸術家が育つまちを目指す
- ★★伝統芸能文化の振興に向けた先駆的取組の実施
- ★社会課題を解決するソーシャルデザインにおける文化芸術の活用により芸術家の活躍の場を拡大する取組（◎新規）
- ★文化施設間で連携した、文化芸術事業のコーディネーター及び技術者を育成するための取組の推進（◎新規）
- ★京都駅周辺エリアをはじめ、新たな文化ゾーンの創出等による地域の特色づくりの推進（◎新規）
- ★「区民提案・共汗型まちづくり支援事業」等各区の個性をいかした各種文化事業の推進
- ★文化芸術を発展させるためのオープンデータの活用
- ★「映画のまち・京都」ならではの映画・映像文化等の振興
- ★社会人や通訳、外国人等を対象とした伝統的な文化芸術を理解するための講座の実施

文化芸術の力で京都から日本を元気にする！

成熟した都市文化を基盤に  
新しい文化を創造し続けるまち



文化芸術を基軸として観光・経済をはじめ  
あらゆる政策を融合した  
施策・事業を推進

### 方向性3 京都の文化芸術資源を活用し、文化を基軸にあらゆる政策分野との融合により、新たな価値を創造する

- 有形無形の文化芸術資源を活用し、観光・経済をはじめ、産業・学術・教育・福祉・まちづくり等、様々な関連分野への波及・融合を図ることにより、文化による新たな価値の創出を目指す
- ★★芸術家の社会的、経済的地位の向上につながる各種取組の推進（◎新規）【方向性2にも再掲】
- ★★京都市美術館の再整備の推進
- ★★世界遺産・二条城が文化財保存と活用のモデルとなる取組の実施
- ★京都の衣食住等の暮らしの文化をいかした観光振興の推進（◎新規）
- ★最新のコンテンツを活用した文化芸術の創造・普及（◎新規）
- ★多様な価値観の変化に合わせた伝統的な文化芸術・伝統産業の一体的な発信（◎新規）
- ★文化芸術資源を再認識し、文化芸術資源と学術・技術の融合による新たな価値・イノベーションの創出（◎新規）
- ★和装、華道及び庭園文化のユネスコ無形文化遺産への登録に向けた取組の実施（◎新規）
- ★豊かな文化の根源となる生物多様性を守るための取組の推進
- ★寺社等の歴史的資産と周囲の町並みが一体となった歴史的景観の保全の推進
- ★文化芸術の視点による京都らしい景観の向上
- ・暮らしの文化と密接に関わる農林業施策における「食の文化」「花の文化」「木の文化」の振興（◎新規）
- ・京都芸術教育コンソーシアム等における芸術系大学との連携の推進
- ★京都市立芸術大学の移転整備

### 方向性4 様々な文化交流を推進し、京都の魅力を発信する

- 魅力あふれる京都の文化芸術を国内外に発信し、国際的な文化交流を促進するとともに、文化庁を迎える京都を国際的な文化交流の舞台とすることを旨とする
- ★★文化庁の全面的な移転に向けた取組の着実な推進
- ★★「東京オリンピック・パラリンピック」「関西ワールドマスターズゲームズ2021」等を契機とした国際的な文化の祭典の開催とその成果の継承
- ★スポーツ・文化・ワールド・フォーラムをキックオフとした京都文化カププロジェクト2016-2020の各種事業の展開
- ★創造都市ネットワークとの連携（◎新規）
- ★ICOM(国際博物館会議)京都大会2019の開催の推進
- ★東アジア文化都市2017京都の開催
- ★大政奉還150周年記念プロジェクトの実施
- ★京都芸術センターを拠点（ハブ）としたアーティスト・イン・レジデンスによる国内外との文化交流の推進
- ★京都観光振興計画2020と連携した文化芸術に関する情報の戦略的な発信
- ★本市職員の文化力を高めるための取組の実施